

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	化 学				
教 科	理 科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	高等学校 化学 (第一学習社)				
副教材等	新インプレス化学ノート (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物質とその変化に興味を持ち、化学的に探求する能力と態度を身につける。
- ② 化学の基本的な概念と原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
- ③ 化学的な事物・現象についての観察や実験を通じ、まとめる力と表現力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	有機化合物の特徴と分類 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物	第1学期中間考査	10月	○化学 固体・液体・気体 化学反応と熱・光 電池・電気分解 化学反応の速さ 化学平衡 無機物質 有機化合物 高分子化合物 等	第2学期中間考査
5月	芳香族化合物		11月		
6月	天然高分子化合物 合成高分子化合物		12月		
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	[入試対策] ○化学基礎 酸と塩基 酸化と還元		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [実践的な問題を解くために必要な基礎的・基本的な問題]
- ② 思考・判断・表現 [発展的な内容を含む問題や、グラフ・図を扱った問題]
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 [課題、小テスト、グループワークや実験・観察レポート等]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	化 学				
教 科	理 科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	高等学校 化学 (第一学習社)				
副教材等	新インプレス化学ノート (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物質とその変化に興味を持ち、化学的に探求する能力と態度を身につける。
- ② 化学の基本的な概念と原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
- ③ 化学的な事物・現象についての観察や実験を通じ、まとめる力と表現力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	有機化合物の特徴と分類 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物	第1学期中間 第1学期期末 第2学期中間 第2学期期末 第1学期期末 第2学期期末 第1学期期末 第2学期期末	10月	○化学 固体・液体・気体 化学反応と熱・光 電池・電気分解 化学反応の速さ 化学平衡 無機物質 有機化合物 高分子化合物 等	第2学期中間 第2学期期末
5月	芳香族化合物		11月		
6月	天然高分子化合物 合成高分子化合物		12月		
7月		1月			
8月		2月			
9月	[入試対策] ○化学基礎 酸と塩基 酸化と還元	3月			

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ① 知識・技能 | [実践的な問題を解くために必要な基礎的・基本的な問題] |
| ② 思考・判断・表現 | [発展的な内容を含む問題や、グラフ・図を扱った問題] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [課題、小テスト、グループワークや実験・観察レポート等] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	物理(選択)				
教科	理科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	改訂版 物理 (数研出版)				
副教材等	「物理のエッセンス 四訂版「力学・波動」(河合出版)」「〃 [熱・電磁気・原子](河合出版)」「河合塾 良問の風 物理 (河合出版)」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物理的な事物・現象に対する探求心を高め、観察や推察などを行い、
物理学的に探求する能力と態度を育てる。
- ② 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	波(昨年度の続き) 光の干渉と回折		10月	電磁誘導と電磁波 電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導	二学期中間考査
5月	電場 静電気力 電場 電位 物質と電場 コンデンサー	一学期中間考査	11月	交流の発生 交流回路 電磁波	
6月	電流 オームの法則 直流回路 半導体		12月	《原子》 電子と光 原子と原子核 大学入試対策[問題演習]	二学期期末考査
7月		一学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	電流と磁場 磁場 電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力		3月		

※ 高校3年生は2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

① 知識・技能	[定期考査, 小テスト]
② 思考・判断・表現	[定期考査, 小テスト, 発表]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[授業への参加, ノート整理, 課題の提出状況]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	生 物(選択)				
教 科	理 科	単位数	3単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	生物(数研出版)				
副教材等	新課程版 セミナー生物基礎+生物(第一学習社) 改訂版 フォトサイエンス生物図録(数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をたかめる。
 ②目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。
 ③生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第6章 植物の環境応答 植物の生活と植物ホルモン 発芽の調節 成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節	1学期中間考査	10月	受験対策	2学期中間考査
5月	環境の変化に対する応答 配偶子形成と受精		11月		
6月	第7章 生物群集と生態系 個体群の構造と性質 個体群内の個体間の関係 異なる種の個体群間の関係 生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活	1学期期末考査	12月		2学期期末考査
7月			1月		
8月			2月		
9月	受験対策 共通テスト対策 記述試験対策		3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います。

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします。

- ① 知識・技能 [定期考査 小テスト 実験・観察レポート 提出物 発表 等]
- ② 思考・判断・表現 [定期考査 小テスト 実験・観察レポート 提出物 発表 等]
- ③ 主体的に学習に取り組む態度 [定期考査 小テスト 実験・観察レポート 提出物 発表 等]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します。

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	物理(選択)				
教科	理科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	改訂版 物理 (数研出版)				
副教材等	「物理のエッセンス 五訂版「力学・波動」(河合出版)」「〃 [熱・電磁気・原子](河合出版)」「河合塾 良問の風 物理 (河合出版)」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物理的な事物・現象に対する探求心を高め、観察や推察などを行い、
物理学的に探求する能力と態度を育てる。
- ② 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	《波》 波の伝わり方 波と媒質の運動 正弦波の式 波の伝わり方	第1学期中間考査	10月	磁場 電流のつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導と電磁波	第2学期中間考査
5月	音の伝わり方 音の伝わり方 音のドップラー効果		11月	電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流の発生 交流回路 / 電磁波	
6月	光 光の性質 レンズと鏡 光の干渉と回折 《電気と磁気》 電場	第1学期期末考査	12月	原子 電子と光 原子と原子核	第2学期期末考査
7月	静電気力 / 電場 電位 / 物質と電場 コンデンサー		1月		
8月			2月		
9月	電流 オームの法則 直流回路 半導体 電流と磁場		3月		

※ 高校3年生は2学期期末考査まで受験

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います	
① 知識・技能	② 思考・判断・表現
③ 主体的に学習に取り組む態度	
なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします	
① 知識・技能	[定期考査, 小テスト]
② 思考・判断・表現	[定期考査, 小テスト, 発表]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[授業への参加, ノート整理, 課題の提出状況]
年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します	

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	生 物(選択)				
教 科	理 科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	生物 (数研出版)				
副教材等	改訂版 リードLightノート生物 (数研出版) 改訂版 フォトサイエンス生物図録 (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をたかめる。
- ②目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。
- ③生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第5章 動物の反応と行動 刺激の受容 ニューロンとその興奮 情報の統合 刺激への反応 動物の行動	第1学期中間考査	10月	第7章 生物群集と生態系 生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活	第2学期中間考査
5月	第6章 植物の環境応答 植物の生活と植物ホルモン 発芽の調節 成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節 環境の変化に対する応答 配偶子形成と受精		11月	受験対策 共通テスト対策 記述試験対策	
6月	第7章 生物群集と生態系 個体群の構造と性質 個体群内の個体間の関係 異なる種の個体群間の関係		12月		
7月		1月			
8月		2月			
9月		3月			

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | |
|-----------------|---|
| ① 知識・技能 | [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク 等] |
| ② 思考・判断・表現 | [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク 等] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク等] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します